

認定計画の一覧(認定期間が終了したものを除く)

	認定日(期間)	事業者	周波数(MHz)	使用地域	主な割当ての条件	事業者から申請された整備目標
携帯電話	H21.6.10(5年)	ソフトバンクモバイル(株)	1475.9~1485.9	全国	・認定後5年以内に人口カバー率50%以上	平成26年度末に81.47%を整備
		KDDI(株)	1485.9~1495.9	全国※1		平成26年度末に53.0%を整備
		沖縄セルラー電話(株)	同上	沖縄		平成26年度末に50.62%を整備
		(株)NTTドコモ	1495.9~1510.9※2	全国※2		平成26年度末に75.2%を整備
		イー・アクセス(株)	1844.9~1854.9	全国		
	H24.3.1(10年)	ソフトバンクモバイル(株)	945~960	全国	・認定4年後(平成27年度末)に人口カバー率50%以上、7年後(平成30年度末)に80%以上 ・終了促進措置を実施	・平成27年度末に98.4%を整備 ・平成30年度末に99.9%を整備 ・平成25年度中に終了促進措置を完了
	H24.6.28(10年)	イー・アクセス(株)	793~803	全国	・認定7年後(平成31年度末)に人口カバー率80%以上 ・終了促進措置を実施	・平成31年度末に99.1%を整備 ・平成26年度末までに終了促進措置を完了
		(株)NTTドコモ	783~793	全国		・平成31年度末に99.3%を整備 ・平成26年8月末までに終了促進措置を完了
		KDDI(株)	773~783	全国※1		・平成31年度末に99.3%を整備
		沖縄セルラー電話(株)	773~783	沖縄		・FPU(放送事業用無線局)は平成27年8月までに終了促進措置を完了 ・ラジオマイクは平成28年末までに終了促進措置を完了
BWA	H25.7.29(5年)	UQコミュニケーションズ(株)	2625~2645	全国	・携帯電話事業者でない者に限定 ・認定後5年以内に人口カバー率50%以上	平成29年度末に96.3%を整備

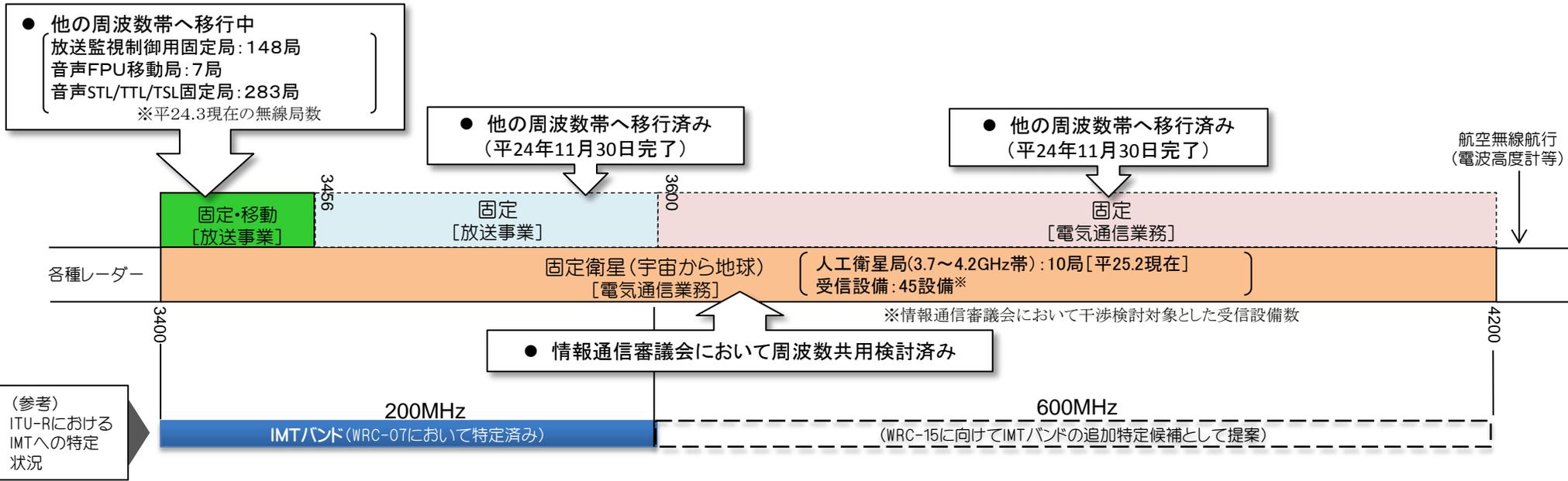
※1 沖縄を除く。

※2 1503.35~1510.9MHzについては最長H26.4.1まで使用制限あり。

第4世代移動通信システム用周波数帯の状況

◆ 3.5GHz帯: 3400MHz~3600MHz

◆ 4GHz帯: 3600MHz~4200MHz



◆ 5GHz帯: 4400MHz~4900MHz



全国、地域WiMAX両用端末 Aterm3820Rについて

開発経緯

・地域で接続できる端末がない。

- ・地域事業者が入手可能なWiMAX端末が限られていて、最近では入手が困難になっていた。
- ・そのため、地域事業者（愛媛CATV、オープンワイヤレスプラットフォーム）、慶応大学SFC研が、NECに直接掛け合い、全国事業者（UQ）向け端末を地域向けでも使えるようリテール端末をベースに作ってもらうこととした。
- ・ローミングではなく地域、全国の両サービスを切り替えて使用出来る端末が完成。

今後

- ・当面は、地域事業者の端末入手は困らずに済む。
- ・地域エリア外では、UQのサービスを利用可能（要別途契約）

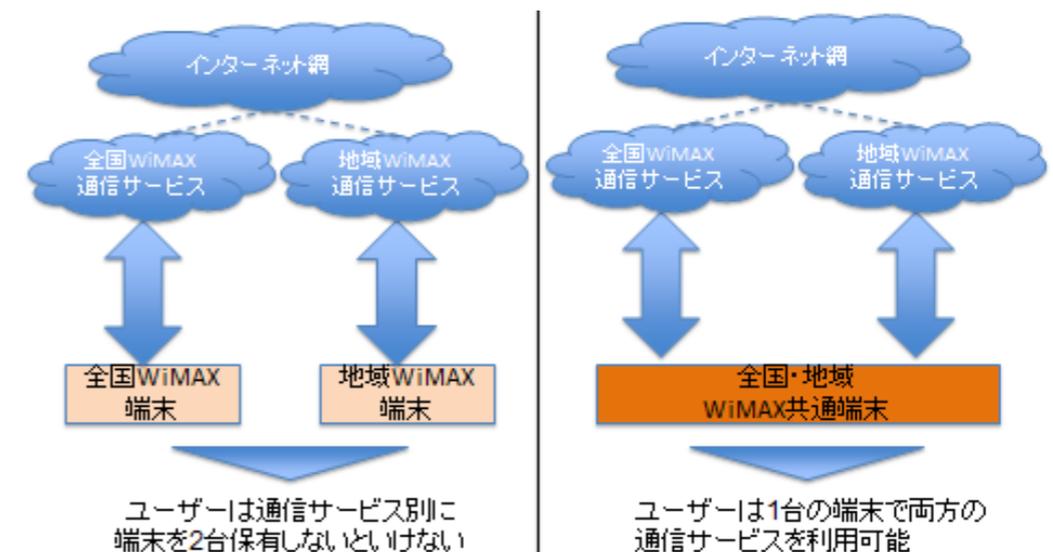
NECアクセステクニカ製
UQ向けAterm3800をベースとした
全国、地域両用端末 3820R



参考

愛媛CATVでは、独自のコアネットワーク※で運用しており、全国事業者またはベンダーによる共用CSN等の利用は行っていない。

(※)(CSN : Connectivity Service Network (WiMAXネットワークアーキテクチャのコア (認証サーバーや課金情報管理機能、DNSなどを含む。)) に位置づけられるもの。)



※従来、全国事業者とコアネットワークを共有している場合に同様のことが可能であったが、本端末はネットワークを共有しない事業者がローミングやMVNO無しに両サービスを利用を可能にする。